

平成23年度第1回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成23年10月17日)の概要

平成22年度の決算、医師数の推移及び現状、平成23年度4月から8月までの経営状況、平成20年度から平成22年度の経営健全化計画と実績の比較、平成23年度～平成25年度(参考期間26～27年度)経営健全化計画行動プランについて事務局から説明を行いました。

平成22年度決算は、入院患者数は予算より少なく外来は若干多く、診療単価は上昇し収支差引は改善しましたが、これについて委員から診療報酬改定の影響だけではなく職員の頑張りの評価をいただきました。また、診療科毎の患者数について予算と決算の差についての質問がありました。

医師数については、医療従事者が充実するということが経営改善の一番の資質であり、医師がきちっといるということが大前提であることから更なる充実を期待しているとの要望がありました。

経営健全化計画行動プランについては、来年の診療報酬・介護報酬同時改定や社会保障・税一体改革により方向性を変えなくてはならないものも出てくるかもしれないことから、情報をみながらやってほしいとの意見がありました。

そのほか、DPCへの早期対応、病院機能評価の受診と活用などについて助言がありました。